OBMマンスリー 2011.11月号 Vol.139

2011 年 11 月 25 日発行

編集·発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145 Eメール info@obm.or.jp ホームページ www.obm.or.jp

そとが知りたの $Q_{\epsilon A}$ 青年部分科会について

経営委員会の中に青年部分科会が発足して2年7ヶ月が経ちました。11月には鳥取県で全国大会が開かれました。業界の若返りが叫ばれているなかで青年部分科会の活躍が期待されています。梶山孝清・青年部部会長(写真)にインタビューしました。



Q 全国大会には大阪からどなたが参加されたのですか?

梶山部会長) 私を含めて青年部のメンバー 5 人が参加しました。全国大会は毎年開かれているもので、今年は100人ほどが全国から参加しました。全国大会では、これからのビルメンテナンス業界について、可能性や業界としてチャレンジしていきたいことなどを話し合い、できるだけ横のつながりを構築して業界の発展に役立ちたいという熱い思いをぶつけ合いました。近隣の青年部同士で情報の連携をとりながら、講習会や勉強会への交流も進めています。

Q 各協会で青年部は活発なのですか?

梶山) 各都道府県協会などで活躍する若手メンバーが青年部として、色々な業界活動に参加しています。協会の活動の多くを青年部のメンバーで運営されているところもあります。独自に青年部という単体の組織があるところはそれほど多くはありません。

Q 大阪協会で青年部ができた経緯について教えてください。以前も「青年部」という青年会員の集まりが あったように伺っております。

梶山) 平成10年度に経営委員会の青年部として始まり、業界に関わる勉強会や講習会、様々な視察などを行っていました。 世代の移り変わりに伴い、当時のメンバーがそれぞれの企業の経営幹部、大阪協会の理事や委員として協会の中枢を担 うようになったため、「青年部」の活動が次第に薄れてきました。

Q それで「次の世代のリーダーを養成していこう」ということで再出発したわけですね。

梶山) そうですね。ですから事業の趣旨としては「次世代の業界リーダー的役割を果たす知識を得るため、青年部員による大阪ビルメンテナンス協会及びビルメン業界の現状認識と研鑽を図る」と謳っています。全国大会への参加もその一環です。

Q 現在の形として再出発して3年になるわけですね。現在の会員は何人ですか?

梶山) 青年部分科会の発足は平成21年です。現在の会員は9人とまだまだ少ないのですが、天神祭ボランティアに参加したり、大阪協会の開催するイベントの準備を手伝ったり、勉強会、研修会を開いて、大阪協会の活動を理解したり、ビルメン業界の今後を考える事項に取り組んでいます。外壁工事現場の視察や建物エネルギーマネジメント関連の見学も予定しています。

Q 業界全体では若手経営者は育っているのですか?

梶山) 後継者をいかに育成していくかは、先輩方の時代からの斯業界の継続的な課題です。現在の青年部メンバーが、お 互い切磋琢磨を重ね一層レベルアップすることで、その回答にしたいと考えています。

Q 右肩上がりにするためにも、若い人達の知恵を借りたいところですね。

梶山) その通りです。私たちの世代が知恵を出し合って継続的な発展を実現し、より魅力溢れるビルメンテナンス業界にすることで、多くの若い方達が斯業に携わってくれることが理想です。高齢の労働者が大部分を占めることが特徴として挙げられますが、若い方達が活躍できる場所がまだまだたくさんあります。現在、社会的な課題となっている若年層の就労難の解決に向け、ビルメンテナンス業界が大きな役割を担える可能性があり、同世代の私たち青年部としては今後検討すべきテーマだと考えています。

Q 海外のビルメン業界はどのような経緯をたどっているのでしょうか。青年部で海外視察など行う考えはないのですか?

梶山) 青年部で海外の方との交流も含めて考えていきたいです。最近は日本のサービス産業のクオリティは非常に高いと 思います。我々が、逆に経済発展している国に出かけて行き、日本のビルメン品質との違いなど視察に行くことも面白 いのではないかと考えています。

ズームアップ



情報管理

昨年7月に契約先との安心、安全の信頼性維持(向上)に必須の要件の一環として、我が社でも検討を重ねてISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証取得に向けて、さまざまな文書や記録の管理・保管の取扱ルールづくり・管理体制の構築に関係者が当分の期間、頭を痛めることとなる。

2009年の情報漏洩原因は、「NPO日本ネットワークセキュリティ協会」のデータから「管理ミス」に区分されるインシデントは、誤って廃棄したため個人情報を紛失したケース、紛失した直接の原因が特定できていないケース。次に「誤操作」では、郵送や電子メールの宛先を

誤ることが多い。次に「紛失・置忘れ」 が続き、外出中や帰宅中のUSBメモリ、 ノートパソコン及び紙ファイルの紛失が 多い。これらは個人情報を取扱う担当者 のヒューマンエラーであった。「管理ミ ス」だけで784件発生(50.9%を占める)。 「誤操作」は369件(24.0%)。「紛失・置 忘れ」は122件(7.9%)であった。「紛失・ 置忘れ」については増加が顕著であると 言われている。漏洩媒体では、紙媒体が 1117件 (72.6%)。 USBメモリが144件 (9.4%) であった。紙媒体は、業種や業 務内容に拘わらず、どんな場合でも多用、 利用機会の多い媒体であるため、漏洩す ることが多くなる。我が社でも車上荒し でパソコンの盗難、私有するパソコンを 持込んでウイルスを感染。顕在化したイ ンシデントは早期に再発防止策を講じや すいが、問題は潜在化している情報漏洩 である。影響の度合いが不明であるため 防止策が講じにくくなる。従ってヒュー マンエラーによる過ちを繰り返すことに もなりかねない。

事前調査を終え、昨年7月14日に社長のキックオフ宣言から2011年5月に内部 監査を実施。JQAの登録審査を10月に 3日間の日程で終えた。登録は本年12月。

契約先との信頼性維持(向上)にISMSを導入した背景があった。昨今では、情報セキュリティに対する企業責任がはるかに重くなっていることは事実。リスクマネジメントは、会社を守るだけではなく、社員一人ひとりが自分自身を守ることに繋がる。意外にもこのことが理解されていない状況がある。いかにして理解を深めていくかが課題と思う。

(広報委員 佐々木和義)

23年度 第8回 理事会

11月4日(金) 協会会議室

- 1. 審議事項
- ①平成23年度中間監査について/ 承認
- 2. 報告事項
- ①委員会部会報告
- 3. その他
 - ①労災保険収支改善推進員推薦 (長井理事)
 - ②障害者就労支援専門委員会委員 推薦(福田理事)
- ③平成23年度収支対策会議について(12月15日(木))
- ④能力開発セミナー「ビルメンテ ナンス業の提案営業の実態」お よび「ビルメン営業スキル強化 研修」の実施について
- ⑤平成23年度労働安全衛生大会の 開催及び同大会への協力につい て

委員会・部会

経営委員会

10月12日(水)出席者12名 協会会議室

講演会について
11月15日開催の講演会の内容を検討した。

青年部分科会

10月18日(火)出席者5名 協会会議室

- 1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について
- ①ビルメンテナンス青年部全国大会について ②キッザニア ビルメンキッズデーについて
- ③勉強会、講習会、研修会の開催
 - 経営委員会での11月講演会について
 - ・補助として青年部参加
 - ・ビルメンテナンス業界の関連企業
 - ・床材メーカー
 - ・トイレメーカー
 - その他建材メーカー
 - これら会社へのメンテナンスについて 意見交流をおこなう
 - ホテル業界のビルメンテナンス
 - ・経営委員会においての講習会と合同にて 開催することについて

広報委員会

10月19日(水)出席者7名 協会展示室

- 1.「OBMマンスリー」H23年10月号の編集 作業を実施した。
- 2.「OBMこみゅにけーしょんず」新春号の 掲載内容、原稿依頼先を検討、決定した。

3.12月1日開催ビルメンキッズデーへの対応につき、当日の体制を決定した。

総務友好委員会

10月11日(火)出席者13名 協会会議室

- 1. 10月20日 (木) のOBM役員懇親ゴルフコ ンペについて
 - 場 所:北六甲カントリー倶楽部東コース 参加者:24名
- 2. 平成24年度新年会について 平成24年1月10日 (火) 於:帝国ホテル
- 3. 平成25年は本協会創立50周年にあたるため 記念行事を計画中。現時点では、5月28、 29日に展示会を、30日に総会とパーティー を実施する予定。

賛助会世話人会

10月24日(月)出席者12名 協会会議室

- 1. 大阪ビルメンテナンス協会50周年事業の展示会実施につき検討した。
- 2.9月21日実施講習会のアンケート集計とま とめ
- 3. 次回ミニ展示会・講習会について ①12月7日 (水) に開催決定

公益·契約事業委員会

10月19日(水)出席者14名 協会会議室

- 1. 分科会について
- ①インスペクション調査対象物件として、府 立中之島図書館の検討
- 2. 障がい者就業ステップアップ事業について
- ①第1クールの進捗状況 ②10月17日第2クール説明会を終えて

参加企業7社、受入申込企業1社

- 3. ビルメン社会貢献セミナーのアンケート結果について
- 4. 障がい者雇用支援スタッフ養成講座 ①11月10日、11月17日、11月24日 ②受講者数32名
- 5. 政策入札研究フォーラムについて
- 6. ビルメンヒューマンフェア'll in 新潟での 障がい者支援シンポジウムの報告

労務委員会

10月19日(水)出席者15名 協会会議室

- 1. 全国産業安全衛生大会で道上委員が「緑十字賞」を受賞された旨の報告があった。
- 2. 労働衛生大会の報告があった。
- 3. 安全パトロールについて 11月7日に実施される「安全パトロール」 の詳細について説明が行われた。
- 4. KYT実務講習会について
- 5. 大阪府発行「中小企業のためのメンタルへ ルス・ガイドブック」の説明が行われた。
- 6. 全国産業安全衛生大会における安全管理活動分科会発表の報告が行われた。
- 7. 業災・通災事故事例の報告について 業災5件・通災4件の内容説明があった。

警備防災部会

10月12日 (水) 出席者17名 協会会議室 警備防災部会委員会

- 1. 防災実践講座について
- 2. 夏期特別研修会の報告
- 3. 全体集会について

11月下旬に実施予定

大阪府警察本部並びに大阪市消防局と打ち合わせをして実施日を決定することとした。

10月14日(金)出席者20名 大阪市消防学校 防災実践講座

- 1. 午前
- ①オリエンテーション
- ②応急手当の必要性について
- ③心肺蘇生法…レサシアンネ(人形)を使用して実習
- ④AED装着の注意事項説明及びAEDを使用して心肺蘇生法を実習
- ⑤最後に全員に普通救命講習「修了証」が授 与された。
- 2. 午後
- ①消火器の取り扱い説明の後、油パットによ

る消火訓練

- ②1号・2号屋内消火栓の取り扱い要領の説明の後、放水訓練
- ③1号屋内消火栓(放水量1300/m)は、2人で協力してホース延長し放水する。
- ④ 2 号屋内消火栓(放水量600/m)は、 1 人でホース延長し放水できる。
- ⑤防災センター災害対応要領の説明と実習
- ⑥消防用設備の種類と取り扱い要領の説明
- ⑦スプリンクラー設備の作動・放水実習
- ⑧応急担架搬送…毛布と竿を利用して応急担 架を作り、怪我人の搬送訓練
- ⑨暗室での煙体験…煙の性状・危険性を体験、 煙中からの脱出
- ⑩最後に全員に防災実践講座「修了証」が授 与された。

設備保全部会

10月14日(金)出席者19名 協会会議室 設備保全部会第6回委員会

- 1. 各小委員会活動報告
- (管理技術調査研究)

非常用電源に関するアンケート調査につい ての説明

①平成23年度活動テーマである「非常用電源 について」に関して、アンケート調査する 旨の説明と協力依頼。

(研修・見学会)

①10月19日開催の「JR大阪駅 ノースゲートビルディング」見学会の詳細スケジュール説明と注意事項の説明。

(環境衛生業務研究)

- ①「ビルの緑化」に関して既存建築物の調査 進捗状況の説明。
- ②アスベスト対策・分析セミナーについての 内容説明。
- 2. 東京・大阪ビルメンテナンス協会 設備情報交換会について スケジュールと内容説明

10月19日(水)出席者33名 J R 大阪駅

- J R大阪駅(ルクア他)施設見学会
- 〈見学した諸施設とその内容〉

1. 「太陽光・風力発電」

- ①屋上緑化付近の風力発電装置(5本)で、照明に利用している。(約64.0W程度発電)
- ②駅ホーム屋根上等にソーラーパネルを設置

し、駅舎の照明器具に利用している。(約 100kW程度発電)

- 2. 「統括防災センター」
- ①ノースゲートビル全体の防災システム(火 災、地震、停電、救急対応、非常放送、セ キュリティ、監視カメラ等)を30人で監視 している。
- ②ELV・ESC (81台) の監視をし、入退 館システムではICOCAカードを使用し ている。
- 3.「雨水利用」
- ①ホーム上のドーム屋根(東西180m、南北100m、面積約18000㎡)からの雨水を地下水槽に貯め「ろ過設備」を設けて、上水6割と雨水4割の割合で雑用水として、施設内のトイレ洗浄水(約870㎡/日)と植栽用水の一部として使用している。
- 4. 「特高受電室・中央監視センター」
- ①高層階で特別高圧にて受電し、一次側 22kV・二次側6.6kVに変圧(12000KVA 3台) し供給している。
- ②各分電盤の扉を「クリアスケルトン」を使用した事で、目視点検を容易に出来る様にしていた。
- ③変圧器の盤上部に、「テーピング」で系統 毎の色分けを行い、容易に確認が出きる工 夫をしていた。
- ④非常用発電機は24時間連続運転が可能。発電機からの供給先は、保安及び防災を中心にしている。
- ⑤中央監視センターでは、各種PCにより空調・換気・衛生機器の監視制御と「電力グラフィック盤」による全体の状態監視(運転・停止・漏電等)を、昼間10人と夜間2人で実施している。
- 5.「省エネ機器等」
 - ①ルクア内照明は8割以上LEDを使用している。
- ②誘導灯にもLEDを使用している。

講習会等のお知らせ

<u>◆(財)ビル管理教育センター</u>

●貯水槽清掃作業監督者(再)

平成24年1月12日(木)~13日(金) 於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年11月25日(金)~12月1日(木)

●清掃作業監督者(新規)

平成24年1月16日(月)~17日(火) 於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年12月1日(木)~7日(水)

●空気環境測定実施者(新規)

平成24年1月23日(月)~27日(金) 於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年12月8日(木)~12月14日(水)

●建築物環境衛生管理技術者

平成24年2月8日(水)~29日(水) 於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年12月8日(木)~14日(水)

●清掃作業監督者(再)

平成24年1月30日(月)

於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年12月15日(木)~21日(水)

●統括管理者 (新規)

平成24年2月1日(水)~3日(金) 於 阪急千里中央ビル

受付 平成23年12月20日(火)~27日(火)

●防除作業監督者(再)

平成24年2月6日(月)~7日(火) 於 阪急千里中央ビル 受付 平成23年12月20日(火)~27日(火)

※平成21年度より (財)ビル管理教育センター へ直接、用紙の請求・申し込みをしていただ くことになりました。申し込み期間に提出で きるよう、早めに申込用紙を請求してくださ い。(TEL 06-6836-6605)

会員だより

[正会員]

- ·Wish Planning株式会社
- (新) 代表取締役 平山淑子様
- (旧) 代表取締役 吉村宜二様

(平成23年11月より)

- ・協栄ビル管理株式会社 大阪支店
- (新) 代表取締役社長 中山健二様
- (旧) 取締役社長

小坂光一郎 様 (平成23年10月28日より) (平成23年10月14日付)



キッザニア甲子園

理事 長井 正樹

先日、娘達と「キッザニア甲子園」に行ってきました。ご存知の方も多いと思いますが、「キッザニア甲子園」とは、子供達が仕事を通じて楽しく社会の仕組みを知ることができるアミューズメント施設です。こどもが主役のこどもの街というテーマで、全ての施設が2/3のサイズでできています。警察、ホテル、消防署、銀行、カフェ、レストラン等様々です。この作られた各建物内には、子供達の様子を外から見ているだけで入れません。また、街でお仕事をすると、この街で

使えるキッゾという通貨のお給料をもらえる仕組みです。 土曜日だった事もあり、予約で満員の中、子供達を見ていると、本当にその情熱に感動しました。

全ての子供達が様々な仕事に興味がいっぱいで、情熱の塊のように、「あれもこれもやりたい!」とみんなが夢中で働いている。消防士になったり、スチュワーデスになったり、ジュースを作ったり、ホテルで接客したり、電車のアナウンスをしたり、もちろん、ビルメンの仕事も、緊張しながら、楽しみながら様々な仕事にチャレンジしています。

私自身、大人になっていく過程で「仕事は大変で頑張らないとダメだ!」と教えられたような気がします。

もちろん、プロとして、一流を目指して頑張るという事が 間違いだとは思いません。

しかし、この街での子供達を見ていると、「人は本来、興味がある事にチャレンジしたい! 楽しみたい! 誰かの役に立ちたい!」という思いで働くのだと感じます。

どんな仕事も、取り組んでいく中に楽しみや誰かの役に立つ喜びがあります。自分自身の中にある情熱を消さないで、興味を持って喜びを見つけていく事…。このキッザニアでの子供達の姿からそんな素晴らしい情熱を改めて思い出しました。

12月には「ビルメンキッズデー」が開催されます。みなさんも、ぜひ、キッザニアを体験して頂き、情熱を思い出していただければと思います。

仕事に愛と情熱を見つけて働く、そんな素晴らしい世界に 少しでも近づいていけるように…。

業界の皆さんとそんな仕事を積み重ねていきたいと思いました。ありがとうございました。

OBM行事予定

		_	## ## #L /// ## A A LL #L A
11月	25	_	警備防災部会全体集会 ビル設備管理科訓練2級実技
12月	26	土	
	27	日	
	28	月	KKC 吹田巾受託事業研修会(~30日)
	29	火	設備保全部会アスベストセミナー(日本水処理工業㈱) ビルクリーニング技能検定水準調整会議 近畿地区本部定例会議・懇親会
	30	水	TERRITORIA TOTAL
	1	木	ビルメンキッズデー(キッザニア甲子園)
	2	金	三役会議、理事会
	3	土	
	4	日	
	5	月	ビルクリーニング準備講習・学科(~6日)
	6	火	広報委員会 警備防災部会
	7	水	賛助会展示会·講習会
	8	木	KKC 理事会 KKC ビルクリーニング受検準備講習
	9	金	公益·契約事業委員会 //
	10	±	
	11	日	
	12	月	ビルクリーニング部会
	13	火	広報委員会
	14	水	経営委員会 KKC 防除作業従事者研修
	15	_	労務委員会 建築物設備管理評価セミナー
	16	=	総務友好委員会 設備保全部会 "
	17	土	
	18	日	
	19	月	
	20		KKC 吹田市受託事業研修会
	21	水	//
	22	木	
	23	金	
	24	土	

労働者を1人でも雇っている事業主は 労働保険に加入する義務があります。

事業主の皆さん、労働保険に入っておられますか? 労働保険とは、「労災保険」と「雇用保険」を 総称したもので、労働者を1人でも雇用されて いる事業主の方は、労働保険に必ず加入しなけ ればなりません。

《お問合せ》

労災保険制度については、労働基準監督署へ 雇用保険制度については、ハローワーク (公共職業安定所へ)

> 大阪労働局 労働保険適用課 (06-4790-6340·6351) 雇用保険課(06-4790-6320)

大阪労働局ホームペー

http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp

KKCお薦め講習会(12月)

12月実施予定のKKC主催の講習会は、次のとおりで す。受講をご希望の方は早めにお申し込み下さい。

●ビルクリーニング技能検定受検準備講座

技能検定の実技3課題である床表面洗浄作業、ガラス面 洗浄作業、カーペットの汚れ取り作業の反復練習を、ベテ ラン講師により指導します。本番と同一規格の会場で、タ イムトライアルにより、合格ライン到達をめざします。

講習会日時: 平成23年12月8日(木)・9日(金)

両日とも 午前9時~午後5時

講習会場:新清風ビル6階 講習会場

員:20人 定

●防除作業従事者研修

防除作業従事者を対象に、防除作業の安全・衛生、機械 器具の種類と使用方法、薬剤の種類と使用法、ねずみ昆虫 の種類と防除方法等を学びます。この研修会はKKCが厚 生労働大臣の登録を受けて、企業に代わり実施するもの で、修了者には事業登録の際に使用できる修了書を交付し ます。

講習会日時:平成23年12月14日(水)

午前9時20分~午後5時

講習会場:新清風ビル6階 講習会場

員:50人 定

申込・問合先:一般社団法人関西環境開発センター

教育訓練部

電話:06-6372-9123 FAX: 06-6450-8038E-mail:bmkkc@swan.ocn.ne.jp



おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの

■あたより紹介』のコーケーへの 投稿を募集しています ●題材・・・自由。 協会への提言、季節雑感、詩、短歌、 俳句、川柳等々、何でも結構です。 ●字数・・・15 字×16~19 行の間に、本 文、会社名、筆者名を全て記入して下 さい。

編集雜感

今年度に入り広報委員会のメンバーが 大きく変更となった。

いままで中心的存在で活躍されていた 数名の広報委員の方が人事異動等で変わ られた。

個人的には、この方々を全面的に頼り きって今日まで広報委員会に参画してき たところであり、寄りかかっていた支柱 を失ったような気がする。

年度当初は数名で広報委員会を開いて

広報委員会開催の案内が来ると不安感 を感じていたが、最近になって新たなメ ンバーが加わった途端、逆に妙に安心感

がでてきた。

広報委員長の下、会報誌「マンスリー」、 「こみゅにけーしょんず」の編集の為、 各委員会・各部会からいただいた原稿の 校正を行っていく。何を報告し、何を伝 えるのか、内容の趣旨をはずさないよう 校正しなければならない。これが非常に 難しい作業である。

前の会社で会議の議事録や労働組合と の記録書を作成したことはあるが、それ とはまた違うものである。

まだまだ広報委員会に貢献できるとこ ろまで至っていないようである。

もう少しで広報委員に参加させていた だいて3年目に突入する。

委員に加えていただき、最初に比べれ

ばいくらかは貢献出来ているかな? いう感じはするが、自画自賛の範囲であ

私のような立場の委員をリードしてい ただける何名かのリーダー的な委員の方 のスキル・ノウハウを早く吸収し、バリ バリと広報委員会で活躍し、貢献したい、 と思うところである。

しかしながら、しばらくは、各委員長 初め各委員の方々に引っ張られながら やって行くのだろうな。

ただし、足手まといだけにはならぬよ うにしたいものである。

取りあえず3年目に向け、頑張ります。 $(K \cdot S)$

